

3月1日は、3・1 ビキニデー(原水爆禁止運動の日)です



アメリカの水爆実験

今から71年前の1954年3月1日、アメリカは太平洋上のマーシャル諸島ビキニ環礁で水爆実験を行いました。炸裂させた水爆(ブラボー)は、広島に落とされた原爆の1000倍の威力でした。

爆発で砕けたサンゴ礁の微粉末は、放射能を帯びた「死の灰(放射性降下物)」となり、海や島々に降り積もりました。

放射能は、広範囲な海や大気を汚染し多くの人を被爆させました。



ビキニ事件

この時爆心地から160キロ当方で操業していた遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」は、アメリカが指定していた危険水域外にもかかわらず「死の灰」を浴びました。乗組員23名全員が急性放射能症になり、頭痛や吐き気、目の痛み、歯ぐきからの出血、脱毛などの症状を訴えました。

無線長の久保山愛吉さんは、「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残し、帰港した半年後の9月に亡くなりました。その後も乗組員は、後遺症で次々と亡くなっています。現在存命なのは1人となり、事件の風化が懸念されています。

第五福竜丸のほかにも、被害を受けた日本の漁船は900隻以上ですが、未だ被害の全容解明が行われていません。

マーシャル諸島の人々の間では、ガンや甲状腺異常、先天的障害のある子どもが生まれるなどの被害が現れています。今もなお故郷の島に戻ることができない人々もいて、水爆実験から半世紀以上経った現在も被害は続いています。

原水爆禁止運動

広島・長崎に続く「第3の被爆」を経験したこの事件は、日本社会に大きな衝撃を与え、全国に原水爆禁止の声が巻き起こり、1年間に全国で3000万筆の原水爆禁止署名が集まりました。1955年8月には、「第1回原水爆禁止世界大会」が開催され、9月には、「原水爆禁止日本協議会(日本原水協)」が結成されました。翌年8月には、昨年ノーベル平和賞を受賞した「日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)」が結成されました。



1958年に被爆者や市民らが広島から東京に向けて行進したのをきっかけに、「国民平和行進」へ発展し、第五福竜丸が保存されている東京・夢の島から広島へ行進してきました。日本生協連でも、1983年から国民平和行進の取り組みを全国に呼びかけ、「市民平和行進(現在のピースリレー)」へと受け継がれています。

毎年3月1日、静岡県焼津市にて**3・1 ビキニデー**が開催されています。日本全国・海外から多くの参加があり、核兵器廃絶に向けた取り組みが続いています。



焼津駅前から久保山愛吉さんのお墓がある弘徳院まで約1時間行進し、献花します。



ビキニデー集会では、事件の被害者からお話を聞いたり、現在の動きや交流について学んだりします。

私も2019年に参加してきました。この経験を通して、日本全国・世界中に核兵器のない平和な世界を願う人々がたくさんいることを実感するとともに、平和への想いを強く持ちました。若い参加者は少なく、同世代が平和に関心を持つことへの課題も感じました。感じたことを1人でも多くの人に伝えていきたいです。

みなさんが、3月1日はこのような日であることを知り、平和について考え・話していただければ嬉しいです。

藤縄

戦争体験や戦時中のくらしについてお話していただける方を募集しています

今年是被爆・戦後80年の節目の年を迎え、鳥取県生協では「証言集」の作成を行うことになりました。被爆者や戦争経験者が年々減少している現在、1人でも多くの人に被爆や戦争の実相を知ってもらい、記憶を未来へつなげていきたいと思っています。少しでもお話ししていただける方、お知り合いを紹介していただける方がおられましたら、ご協力をお願いいたします。裏面に詳しく載せていますので、ぜひご覧ください。



平和募金

平和募金は、平和について学び、考え、広げて、次の世代へ語り伝えていく活動を行うために活用させていただいております。

募金番号	募金金額(一口)
1523	100円

ユニセフ募金

世界各地のユニセフ活動に利用される『一般募金』と、国や地域を指定して活用される『指定募金』に分けて送金しています。

募金番号	募金金額(一口)
1522	100円

千羽鶴づくり(糸通し作業)をしてみませんか？

組合員さんから寄せられた鶴に糸を通し、千羽鶴にする取り組みを行っています。糸を通していただいた鶴は、千羽鶴にして8月開催の「ピースアクションinヒロシマ」で広島の子に捧げます。ぜひご協力をお願いいたします。

お届けするもの

- 千羽鶴づくりセット(100羽の折り鶴、糸、ビーズ)
- ※1束50羽で2本作成していただきます。
- 感想用紙
- 3週間を目途に「千羽鶴づくりセット」を配達時にお届けいたします ●

注文番号 1セット

17833 100羽



戦後80年に向け、戦争体験証言を集めています

▼お聞かせいただきたいこと

- ・被爆体験 ・空襲体験 ・軍隊経験 ・引き揚げ体験
- ・戦時中の暮らし ・親や祖父母に聞いた戦争の話

未来の子どもたちへ向け、戦争証言集の作成にご協力をお願いいたします。



きりと

戦争証言をしてくださる方を募集しています

組合員番号	
組合員名	
お話をしてくださる方	
ご連絡するのに都合の良い時間	

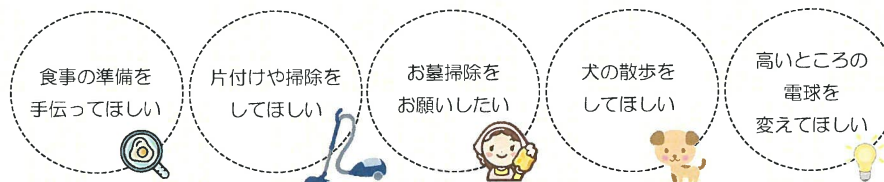
組合員活動グループ 行

くらし助け合いの会



組合員同士がくらしを支え合う **有償ボランティア活動** です！

ちょっとしたくらしの困りごとに手助けをし合う仕組みとして広がってきた「くらし助け合いの会」。お手伝いしたい、お手伝いしてほしい組合員さん同士が援助を行い、いろいろなサポートをしています。



お手伝いしたい人
～都合の良いときに、得意なことで活動～

活動費 **900円** / 1時間
(時間外+200円、屋外+200円)

お手伝いしてほしい人
～くらしの困り事を支援してもらえ～

利用費 **1000円** / 1時間
(時間外+200円、屋外+200円)

お手伝いしたい人(活動会員)を募集しています。

大山口駅周辺にお住いで、

週一回、朝のゴミ出しのお手伝い(活動)の出来る方。

・毎週 月曜日または木曜日の朝 8時00分～8時30分の間

詳しくは下記まで連絡をお願いします。

くらし助け合い募金

『くらし助け合い募金』は、組合員全員参加の **応援募金** です。組合員どうしが共に学び合い、自主的なくらしの相互援助活動が充実するようご協力をお願いしています。

注文番号	募金金額(一口)
1520	100円



*「くらし助け合い募金」は、活動会員やコーディネーターの研修や意見交換会、活動を組合員や地域にお知らせするための広報活動に役立てられます。

注文書の4～6ケタ注文欄に、注文番号と口数をご記入ください

お問い合わせ先 **090-3172-1432** 『くらし助け合い』事務局 (月～金 9:00～17:00)